

2024/10/21 (月)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 11章 28-30節 (新約聖書 20頁)

すべて重荷を負って苦勞している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。私は柔和で心のへりくだった者だから、私の軛を負い、私に学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に安らぎが得られる。私の軛は負いやすく、私の荷は軽いからである。」

自由な軛

皆さんは「軛」ってなんだと思いますか。「車」に「厄 (やっかい)」と書きます。昔、二頭の牛や馬の頸に横木を渡し、農具をつけて土を耕しました。その横木のことを軛と言います。ですから「重荷を負う」「束縛する」という意味になります。

イエスは「休ませてあげよう」「魂に安らぎが得られる」と言っていますが、「軛を負い」「学びなさい」とも言っています。違和感がありませんか。休む、安らぐというのは軛を降ろしたはずなのに負いなさいとは、矛盾しているようではありませんか。

でもよく考えてみると、同じ苦勞をしても、ただ疲れただけで終わる時と、疲れているけどとても充実している、喜び、感謝を感じる時がありませんか。どうして同じ苦勞をしているのに違うのでしょうか。

それは手段や目標ではなく、苦樂を共にしたプロセスを言っているのです。イエスの言う軛とは共に生きる、赦し、励まし合う、互いに愛し合うことです。その軛は負いやすく、軽い、つまり心地よい、自由な軛、喜びと感謝の軛だと言っているのです。

(しばらく黙想しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたは十字架の死に至るまで、この世で小さくされた人々と共におられ、謙遜なみ姿をあらわされました。あなたが共にいて、互いに愛し合う喜びと感謝、自由を学ばせてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、共に学ぶ喜びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン